

# Debian 勉強会プレゼン in OSC2007Kansai

Yukiharu YABUKI

2007年7月21日

- 1 イントロダクション
  - 自己紹介
- 2 本文
  - 関連図
  - Debian Project
  - Debian JP
- 3 最後に

# お願い

質問は後で受け付けます。しかしながら、発表時間に制約があるので、込み入った質問などは関西 Debian 勉強会のブースで私を捕まえて質問をしていただければと思います。  
ブースには、Debian に関するご意見などを頂けるようにリアルな掲示板を用意しております。是非お立ち寄り下さい。

# About Yukiharu YABUKI

Linux で **人生**変わりました。

**名前** 矢吹 幸治 (Yukiharu YABUKI)

**email** yabuki at netfort.gr.jp

**職業** KIIRE JAPAN Inc. という会社で働いています。

**最初の Debian** 今は亡き Linux Japan という雑誌の CD 付録に付いていた bo-jp です。

# 私と Debian Project との関係

- Debian Developer となるべく、New Maintainer に応募中です。 — まだ、Debian Developer ではありません。
- Debian Project へ upload しているパッケージ
  - yc-el
  - td2planet
- 養子 (adopt) をしようとしているパッケージ
  - canna-shion

## 私と Debian JP との関係

- ML でアクティブに活動していたのは、1998 年 10 月ごろ 一歩進んだ本が出たぐらいから。
- 2006 年 10 月 26 日に Debian JP (Debian 開発者の会) に加入しました。
- 関西で活動をして Debian をもりあげることを目的に動いています。

## 私と関西 Debian 勉強会との関係

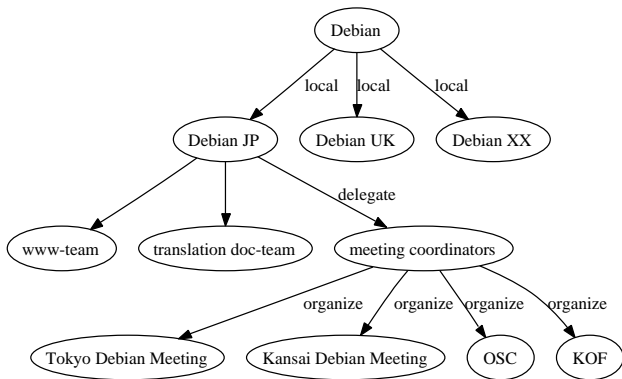
- 関西でも一緒に、Debian を勉強できる相手が欲しくて勉強会を始めました。
- Debian system について、(Debian.org や Debian JP の話題も含めて) 話題にする場所を作りたいかった。
- 詳しくは、たかやさんの発表にて

- 最初に関連図を見て概略を掴んでもらいます。
- その次に、Debian.org の説明を行います。
- その次に、Debian JP の説明を行います。
- 最後にもう一度、図を見て確認します。



# Debian.org と Debian JP および各イベントの関係図

下記のようなストラクチャーになるように、活動している。



# Debian Project

- <http://www.debian.org/>
- Debian Project (通称、本家)
- 公式言語 英語
- Debian Developer 約 1000 名
  - うち、日本人とおぼしき人数 40 名

# Debian Project

- <http://www.debian.org/>
- Debian Project (通称、本家)
- 公式言語 英語
- Debian Developer 約 1000 名
  - うち、日本人とおぼしき人数 40 名
- 現 Debian Project Leader : Sam Hocevar

## Debian Project #2

Debian Project と他の FLOSS<sup>1</sup> プロジェクトとの違いは、自由に対する「こだわり」とインターネットの上での直接民主主義の実施である。

- 自由なユニバーサルオペレーティングシステムを提供しているプロジェクト
- Debian 社会契約
- DFSG(Debian Free Software Guideline)
  - ブルースペレンス (Bruce Perens)
  - オープンソースの定義に影響を与える

---

<sup>1</sup>Free Libre Open Source Software

## Debian Project #3

- Debian GNU/Linux, GNU/Hurd, kFreebsd などの開発が行われている。
- プログラムの開発だけでなく、翻訳作業などの I18N も行われている。
- 年に一度 debconf と呼ばれる Debian Developer を主体とする開発者が一同に会してカンファレンスが開かれる。

## Debian Project へかかわるには

- Debian の開発には下記のような、さまざまな形で関わる事が可能である。
    - (主に開発版の) Debian を使ってバグ報告、パッチ送付を行う。
    - 自分が良く使っているプログラムを debianaize して Debian Project にもっていく。
    - いろいろな理由からメンテナンスが放棄されているパッケージを引き受ける。
    - web page/パッケージの質問などの翻訳を行う。
    - Debian Project 内の興味のあるプロジェクトに参加する。
- などなど。

# Debian JP

- <http://www.debian.or.jp/>
- Debian 開発者の会 (通称、Debian JP)
- 公式言語 日本語
- Debian JP 正会員 44 名
  - Debian.org にも参加しているメンバー 24 名

# Debian JP

- <http://www.debian.or.jp/>
- Debian 開発者の会 (通称、Debian JP)
- 公式言語 日本語
- Debian JP 正会員 44 名
  - Debian.org にも参加しているメンバー 24 名
- 現会長 上川 純一



## Debian JP cont'd

- Debian JP は、Debian を日本語化するための情報集積および、作業場所として発足した。
- 日本語化が一段落した時、「本来、これらのパッケージは Debian.org へ持って行って、国際化の枠組で作業するべき」という議論が出た。
- そこで、Debian JP で持っていたパッケージは、本家の Debian Developer でもあった人々によって、本家のリポジトリへマージされた。

現在の Debian JP としての方針は、debian-announce ML に流れた 2007 年度 Debian 開発者の会 活動方針のお知らせ<sup>2</sup> より紹介する。

<sup>2</sup><http://lists.debian.or.jp/debian-announce/200707/msg00000.html> ↗ 🔍

## Debian JP の目的・基本方針

2007 年度 Debian 開発者の会 活動方針より (抜粋) 主な活動としては、次の3つを行います。

- Debian の活動を日本においてサポートするインフラの維持 (Debian ミラーの維持、商標の維持、ユーザの情報交換の場の提供等)
- Debian 開発者の日本においての活動および支援
- Debian の日本語翻訳者の活動および支援

## Debian JP の目的・基本方針

2007 年度 Debian 開発者の会 活動方針より (抜粋) 主な活動としては、次の3つを行います。

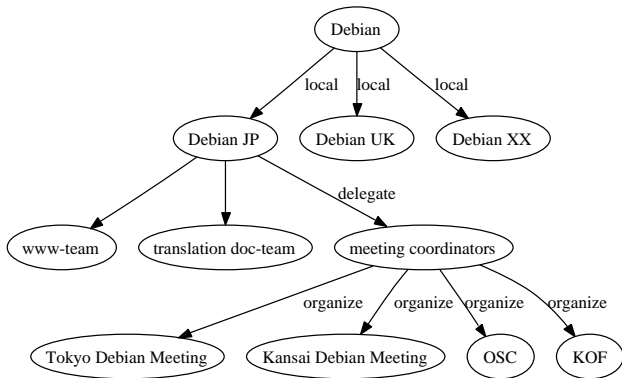
- Debian の活動を日本においてサポートするインフラの維持 (Debian ミラーの維持、商標の維持、ユーザの情報交換の場の提供等)
- Debian 開発者の日本においての活動および支援
- Debian の日本語翻訳者の活動および支援

また、会議体として下記を設置します。

- board@debian.or.jp
- IRC 定例会議
- Debian 勉強会

# 再掲：Debian.org と Debian JP および各イベントの関係図

下記のようなストラクチャーになるように、活動している。



## 参加しませんか?

Debian に関することをやってみませんか?

私の場合は、Debian 活動のおかげで海外の会社に入社し、大きな転機となりました。あなたも他国の技術者を含めた人々と交流するのは、良い経験となるでしょう。